

令和7年度当初予算 福島県東日本大震災こども支援基金活用事業

(単位:千円)

No.	事業名	概 要	担当課	当初	うち 基金充当額
1	“医療の仕事”魅力発信事業	小学生(高学年)及び中学生を対象に、様々な医療職種についてウェブサイトによる紹介及び体験学習を実施し、医療職種の魅力を伝える機会を創出する。	医療人材対策室	1,455	1,455
2	若者の県内定着のための看護の魅力発信事業	小学生、中学生、高校生を対象とし、医療の現場で実際に働く看護職員や看護技術に触れる機会(出前講座、医療機関における体験等)を創出する。	医療人材対策室	26,305	26,305
3	ふくしま絆ふれあい支援事業	子どもと大人、子ども同士のペアで、共通体験や思いを十七字で詠み合う活動を通じて心の交流を深め人と人の絆を強めるとともに、東日本大震災や福島の復興について、福島県の小中高校生と共に学んだ県外の子どもたちからも広く作品を募集し、震災の記憶の継承に役立てる。	社会教育課	1,610	1,610
4	ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト(情報発信プロジェクト)	未来の福島を担う中高生に対し、ビブリオバトルなどを通して、本に関心を持ち、「心に残る一冊の本」と出会うきっかけにするとともに、読書により感じた思いを表現することを通して、情報発信力等様々な力を向上させる。	社会教育課	1,058	1,058
5	理数コンテスト事業	・「福島イノベーション・コースト構想」を周知し、福島の将来への夢や憧れを膨らませる。 ・算数・数学、理科への興味、関心を高め、自分の力を試したり、知見を広げたりするために、論理的な思考力・科学的思考力を問う問題に挑戦する機会や先端技術に触れる機会を設ける。	義務教育課・ 高校教育課	4,144	858
6	WWLコンソーシアム構築支援事業	復興を果たし、新たな社会を創造するために、ふたば未来学園中学校・高等学校による実践にとどまることなく、県内外におけるグローバル人材育成を担う高等学校、国内外の大学、国際機関等とネットワークを形成し、協働していくことで、復興を支える人材の育成を図る。	高校教育課	11,528	3,628
7	ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業	将来、福島県内で医療人として本県の復興及び被災者を支援することを希望する高校生に対し、県立医科大学において、最新の医学等についての講義、体験実習等を行う。	高校教育課	2,804	1,914
8	ロボット技術力向上事業	各工業高校のロボットの製作活動を支援するとともに、学校間の連携をより一層推進し、本県の新たな産業分野であるロボット分野で活躍できる人材を育成する。	高校教育課	3,896	3,810
9	個別支援教育サポート事業	個別支援教育コーディネーターを配置している県立高校10校の校内に多様な背景や困難の抱えた生徒が、安心して過ごすことのできる居場所作りを外部団体に委託して行う。また、高等学校における通級による指導の各地区拠点校や、多様な支援を必要とする生徒支援への専門的アドバイザーの派遣を通して校内個別支援体制の充実をはかることで、生徒が自他共に認め合い、社会で自立し、持続可能な社会の作り手となる人材を育成していくことを目的とする。	高校教育課	11,887	11,887
10	専門教育魅力発信応援事業	県内6地区を対象に、小中学生が専門教育を実施している高校を訪れ、専門教科の授業や実習に触れる。その中で、小中学生が高校の学習活動への理解を深め、進学の意欲を高めるとともに、高校生にとっては、学習内容と将来設計の関連性を再認識し、講師や実習の補助等を行うことにより、自身の誇りを持つことにつながる。この一連の効果によって、福島の将来を担う児童生徒の夢の実現につなげる。	高校教育課	5,025	5,025
11	夢に向かってテクノチャレンジ事業	特別支援学校高等部生徒の活躍の場を設け、働く意欲や向上心を高めるとともに、高等部卒業生の就職率や職場定着率の向上を図る。	特別支援教育課	5,487	5,108

令和7年度当初予算 福島県東日本大震災こども支援基金活用事業

(単位:千円)

No.	事業名	概 要	担当課	当初	うち 基金充当額
12	元気なふくしまっ子食環境整備事業	学校給食における地場産物の活用については、原子力発電所事故に伴う放射線の健康影響に関する不安がいまだにある。そこで、小中学生を対象に地元の農産物を活用した料理コンテストを開催し、入賞したレシピを広く県民に発信することにより、子どもたちの食べる力の育成や地元の食材に対する理解を深め、地場産物の利用率の向上につなげる。	健康教育課	3,348	889
13	ふくしまの夢応援事業	本県のプロスポーツ5チームと連携して、子どもたちの憧れ、目標の存在である選手等から、直接、夢を持つ素晴らしさや体を動かす楽しさを学べる課外授業、手に汗握るプロの公式試合会場での選手との交流という特別な体験機会をつくることで、福島下次代を担う子どもたちの健やかな成長、心と身体の充実を図るとともに、福島への愛着心の醸成を目指す。	地域振興課	34,635	26,119
14	アートで広げる子どもの未来プロジェクト	福島の未来を担うこども達に将来「新生ふくしま」を推進する人材として活躍してもらうため、県内の小中学校等に、県内外で活躍する本県ゆかりのアーティストを講師に招き、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを開催する。	文化振興課	9,632	9,632
15	日本フィルハーモニー交響楽団との連携事業	県内学校の吹奏楽部等を対象に、日本フィルハーモニー交響楽団によるアウトリーチ活動を行うことで、福島県の将来を担う子どもたちの豊かな心と創造性を育む。	文化振興課	2,759	2,759
16	ジャーナリストスクール開催事業	未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興のために活躍している個人、団体に対し、これまでの努力や成果、今後の夢や目標等について取材をし、新聞記者等の指導を受けながら、新聞にまとめ、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考えさせる機会とする。	生涯学習課	7,715	300
17	東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業	震災から13年が経過し、福島の未曾有の複合災害を経験していない子どもたちが年々増加している。当該災害の記憶と教訓を継承していくためには、そこからの復興、未来について、自分事として考え、自分の言葉で発信できる人材を育成することが不可避である。このため、県内外の学校が伝承館での震災関連学習活動をととして、複合災害の基本的知識の習得や復興に向けた取組を考え、継承できるようになるため、学習環境を整えている伝承館に対し一定の支援を図る必要がある。	生涯学習課	31,976	29,130
18	輝け未来へ！スマイルスポーツ教室inふくしま	県内の子どもたちを対象とした、オリンピックの新競技など関心の高い種目のスポーツ体験教室を開催し、子どもたちの将来の夢や希望を育むとともに、スポーツのもつ価値や魅力・身体を動かす楽しさを伝え、より一層のスポーツ活動への参画や運動習慣の定着を促す。 【R7年度想定種目】 スカイスports、ブレイクダンス教室	スポーツ課	9,268	9,268
19	ふくしま水素エネルギー人材育成事業	福島イノベーション・コースト構想の下、FH2R、水素ステーションなどの水素関連施設が拡充してきている。また、テクノアカデミー浜に水素製造装置及び燃料電池装置が令和6年5月に完成した。 県内の水素エネルギー利用技術や県内外の水素エネルギー研究の第一人者を招聘しながら、各種講座やイベント、課題製作などを実施することで、再生可能エネルギーや環境問題、SDGsに関して関心を高めながら人材育成を図る。	産業人材育成課	13,367	13,223
20	こどもを守る情報モラル向上支援事業	家庭や学校で子どものインターネット利用に関する基礎知識の習得度合いと利用状況を把握し、その向上と改善を図る支援システム「ふくしま情報モラル診断」を運用する。	こども・青少年政策課	3,960	3,960
21	地域で支える子育て推進事業	地域全体で子育てを支援する機運の向上を図るため、地域の子育て支援につながる企画提案を公募し、採択した事業に要する経費を補助する。	こども・青少年政策課	8,633	8,633
22	こどもの将来応援事業	こどもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、支援制度や相談窓口等の情報が掲載されたリーフレット及びガイドブックを作成・配布するとともに、ウェブサイト上での情報発信を行う。	こども・青少年政策課	2,310	2,310

令和7年度当初予算 福島県東日本大震災こども支援基金活用事業

(単位:千円)

No.	事業名	概 要	担当課	当初	うち 基金充当額
23	ふくしまのこどもの意見を社会に届ける事業	「こども・若者の地域への定着」をテーマとした探究活動を行い、こどもたちが地域定着やUターンを考えるきっかけづくりを行い、将来の地域づくり・復興創生の担い手を確保するとともに、こどもまんなか社会の実現に向けて、こどもたちからの意見聴取を行う。	こども・青少年政策課	2,350	2,350
24	こどもの居場所づくり支援事業	こどもの居場所の新規開設及び中間支援の取組を支援し、経営基盤強化を図ることによって、こどもたちの社会的孤立を防止するとともに、支援が必要なこどもやその家族を適切な支援機関に繋げる仕組みづくりを行う。	こども・青少年政策課	12,129	12,129
25	世代間交流による地域コミュニティ再構築事業	社会全体での子育て支援を推進するため、高齢者と子どもが、昔ながらの遊びや伝統文化を教え学ぶ交流会を通し、世代間交流を行う「地域の寺子屋」を県内各地で開催し、本県の復興を担う子どもたちを社会全体で育てる。	こども・青少年政策課	3,655	3,642
26	ふくしまのこどもたちの体験活動促進事業	福島県内のこども・若者の居場所一覧に掲載されている、こども・若者の居場所を利用するこどもたちを対象とした、通常のこども・若者の居場所の活動とは別に企画・実施される、福島ならではの体験活動(スポーツや文化芸術活動、自然体験、社会体験、文化的体験等)の取組に対して補助金を交付する。	こども・青少年政策課	9,000	9,000
27	リトルベビーハンドブック活用事業	低出生体重児が活用できる「ふくしまリトルベビーハンドブック」を作成し、対象者に配付することで、必要な情報を提供でき、安心して子育てができる。	子育て支援課	395	395
28	魅力あふれる保育環境づくり支援事業	子どもの育ちによって重要な「遊び」の環境を改善し、県内の保育所や認定こども園等の保育の質を向上させる。	子育て支援課	11,632	6,660
29	未来に進もう！こどもの夢応援事業	児童養護施設等を退所し、進学する者について、生活を支援する生活給付金、進学・新生活準備のための入学支度金、住居契約更新等の臨時支出費用のための臨時給付金を給付することで、経済面の安定を図り、自立のための支援を行う。	児童家庭課	37,571	37,571
30	児童養護施設等入所児童自立支援事業	児童養護施設等に入所している児童の自動車運転免許の取得を支援することにより、就職先の選択肢の拡大を図り、児童の社会的自立の促進を図る。	児童家庭課	8,910	8,910
31	障害児入所施設入所児童自立支援事業	障害児入所施設に入所している障がい児の自動車運転免許の取得を支援することにより、就職先の選択肢の拡大を図り、障がい児の社会的自立の促進を図る。	児童家庭課	660	660
32	子どもを守ろう！見守りサポーター養成事業	CAPプログラム(子どもへの暴力防止)を活用して、県民に広く児童虐待防止のための教育又は啓発を行う事業。子どもは人権の大切さを学び、虐待から身を守る方法を身につけるプログラム等を実施している。	児童家庭課	5,910	5,910
合 計				295,014	256,108